

## 抗がん剤に対する制吐療法（催吐性リスク別）

day	高度 催吐性リスク	中等度+ $\alpha$ (オプション) 催吐性リスク	中等度 催吐性リスク	軽度 催吐性リスク
1	ホスアプレピタント注(150mg) 1V パロノセトロン注(0.75mg) 1V デキサート注(6.6mg) 1.5V 生理食塩水 250mL 30分	ホスアプレピタント注(150mg) 1V パロノセトロン注(0.75mg) 1V デキサート注(6.6mg) 1V 生理食塩水 250mL 30分	パロノセトロン注(0.75mg) 1V デキサート注(6.6mg) 1.5V 生理食塩水 100mL 30分	デキサート注(6.6mg) 1V 生理食塩水 100mL 30分
2	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	デカドロン錠(4mg) 1錠 1x朝食後	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	
3	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	デカドロン錠(4mg) 1錠 1x朝食後	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	
4	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後			

### PTXを含むレジメンは前投与に下記追加（アレルギー予防）

day	Triweekly PTX (3週毎)	Weekly PTX (1週毎)
1	ガスター注(20mg) 1A ポラミン注(5mg) 1A デキサート注(6.6mg) 2.5Vに増量	ガスター注(20mg) 1A ポラミン注(5mg) 1A デキサート注(6.6mg) 1Vのまま

### アービタックス・サイラムザを含むレジメンは前投与にポラミン注(5mg)1A追加（アレルギー予防）

★【+ $\alpha$ 】の対象は、オキサリプラチン含有、カルボプラチンのAUC4以上、イリノテカンの150mg/m<sup>2</sup>以上

★内服：軽度～高度催吐性リスク群に対して「催吐リスク:〇度 必要に応じて制吐剤を処方して下さい。」のコメントを記載

### ★ホスアプレピタント注は内服の場合アプレピタントカプセルで処方

day	注射	内服
1	ホスアプレピタント注(150mg) 1V	アプレピタントカプセル(125mg) 1C 1x前投与開始前に服用
2		アプレピタントカプセル(80mg) 1C 1x朝
3		アプレピタントカプセル(80mg) 1C 1x朝